広島市東部地区連続立体交差事業の整備促進を求める意見書

平成24年2月7日、広島県と広島市は、府中町、広島市東部、海田町を通る山陽本線と呉線の計6.3Kmを高架化する設計費を、平成24年度当初予算に盛り込まないことを明らかにした。これにより平成25年度の工事着手が困難となった。

厳しい財政状況に加え、優先度の高い広島南道路や広島駅周辺整備などが本格化することを考慮したためとされている。

しかし、広島市東部地区連続立体交差事業だけが「財政難」の理由で先送りされてしまうのはあまりにも不公平・理不尽である。

平成11年に都市計画決定し、平成14年に事業認可を受け、平成27年度事業完了とした当初計画は、平成19年1月に突如変更された。この完成時期を7年延長し、その後については平成24年度から工事協定を行い、平成25年度から工事を着手し、平成34年度に事業を完了する計画で今日まで進めてきた。

広島市東部のJR向洋駅及びJR海田市駅周辺は、山陽本線、呉線によって市街地が分断され、交通が渋滞するなど都市機能が著しく阻害されている。

この地域において、鉄道を高架化し都市交通の円滑化を図ることにより、市街地の一体化と健全な街づくりに寄与することから、1日も早く完成させることが必要である。

よって、広島市東部地区連続立体交差事業を平成34年度まで計画通り進めるよう切に要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成24年3月9日

海 田 町 議 会